

1. 基本情報						
事務事業番号	01889	事務事業名	霧島市施設管理公社支援事業	担当部	企画部	
政策名	006	しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)			担当課	企画政策課
施策名	001	市民の視点に立った行政サービスの提供			担当課長	上小園 拓也
基本事業名	001	効率的で適応力に富んだ行政運営と市民サービスの提供			グループ	企画政策グループ
予算科目目	02	一般会計	事業期間	単年度のみ	内線番号	1511
	01	総務費		単年度繰返(開始年度		
	09	総務管理費		期間限定複数年度(
		企画調整費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則ほか		
評価区分		標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
生涯スポーツや環境美化活動等の振興を図るとともに、本市と連携して公共施設を適正に管理するため、本市の100%出資により設立された「一般財団法人霧島市施設管理公社」(以下「管理公社」という。)に対し補助金を交付し、同公社の運営を支援する。補助対象経費は、各施設等を管理運営するために必要な本部運営経費。
【管理公社の主な実施事業】
・夏休み一日体験会、そば打ち体験、野球教室などの自主事業
・各公園や国分キャンプ海水浴場などの施設管理受託事業
平成8年に設立された「しみん学習支援公社」は、平成20年に施行された公益法人制度改革により「特例民法法人霧島市しみん学習支援公社」となり、さらに平成25年に一般財団法人の設立許可を受け「一般財団法人霧島市施設管理公社」に移行した。移行法人は公益目的支出計画期間内に自主事業による公益目的財産の清算が必要であるが、同計画は令和4年の計画変更により令和8年度まで延長された。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込) (実績)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 自主事業の数	事業数	4	4	4	4
イ 管理している施設の数	施設数	28	28	28	28
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込) (実績)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標) (実績)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア 快適に施設を利用できる	管理公社が総合的に管理をしている施設数	施設数	28	28	28	28
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)
行政評価を活用し、確実に事務事業を振り返り、問題点・課題を洗い出し、必要とされる見直しや改善を行う、成果重視型の行政運営を推進します。
また、業務最適化の観点から、業務の必要性の検討や民間活力の導入等を行うとともに、必要とされる組織機構や職員配置の見直しを行います。
さらに、行政手続きの簡素化などによる利便性の向上や受付業務における接遇向上に努め、市民から信頼される窓口サービスを提供します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 4年度の改善改革の内容 (取り組むべき課題)
これまで市が本部運営経費を補助しているが、公共施設の管理運営のみならず、自主事業に携わっている施設等についても、新規事業の実施の可能性等について、管理公社と共に検討する必要がある。

4. 事業費の推移		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	4年度 決算	5年度 当初予算	6年度 計画
事業費	投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	11,009	10,700	10,700	11,085
		事業費	千円	11,009	10,700	10,700	11,085

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 市民福祉の向上に寄与することを目的として、公共施設の適正な管理・運営や、生涯スポーツ・環境美化活動等の振興を図るため、管理公社の運営支援を行った。 管理公社においては、元プロ野球選手を講師に招いた少年野球教室やそば打ち体験会を実施し、施設利用者の増加を図った。また、防火管理者研修や救命講習会に参加する等、施設の安全管理と職員の資質向上に努めた。事業運営については、公益目的事業、指定管理者事業及び自主事業等を公社全体で効率性の向上と経費削減を図りながら適正な財政運営に取り組んだ。	(2) 令和 4年度の実績 (取組) による成果を記載 公共施設が適正に管理・運営され、市民に安心・安全なサービスを提供することができた。 また、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、公共施設が環境美化活動の推進や子どもの健全な育成、競技スポーツ・健康運動・レクリエーションの場として活用され、市民福祉の向上に寄与できた。
--	--

事務事業 番号	01889	事務 事業名	霧島市施設管理公社支援事業	担当部	企画部
				担当課	企画政策課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	使用料収入が見込めない施設等については、民間の指定管理者の参入が難しいことから、管理公社がセーフティネット的役割を担っている。そのため、事業（市補助）の廃止等により管理公社が存続できない場合は、公共施設の管理運営に支障をきたす。今後、公営目的財産の清算に伴う財務体質改善の中で、財源を生む自主事業が拡大されれば、事業費削減の余地が出てくる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)							
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	令和8年度まで延長された公益目的支出計画期限までに、自主財源確保による自立した財務体質への改善が求められている。改善には自主事業の収益化が急務であるため、既存事業の改善や新規事業の可能性等について、管理公社と共に検討する必要がある。						
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	自主事業の実施による財源の確保等について、公社と共に検討する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
		維 持	
		縮 小	
		休廃止（統合含む）	
		皆 減	縮 小
			維 持
			拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	01897	事務事業名	行政改革推進委員会運営事業	担当部	企画部	
政策名	006	しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)			担当課	企画政策課
施策名	001	市民の視点に立った行政サービスの提供			グループ	行革推進グループ
基本事業名	001	効率的で適応力に富んだ行政運営と市民サービスの提供			内線番号	1461
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	02 総務費			単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	01 総務管理費			期間限定複数年度(平成17年度 ~ 令和4年度)	
	目	09 企画調整費			根拠法令・条例等 霧島市行政改革推進委員会設置規則等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市行政改革大綱、霧島市行政改革実施計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
<p>行政改革推進委員会は、行政改革を着実に推進するため、民間の有識者や公募の委員など住民の代表者で構成される委員会である。本市は、「行政評価システム」の運用による成果重視型の行政運営や、計画的な職員配置と職員数の削減などの行政改革を進めてきており、引き続き、不断に行政改革を進めることとしている。</p> <p>このような中、当該委員会は、本市の行政改革の推進に関する調査、研究、提言及び効果検証を役割としており、「霧島市行政改革大綱」及び「霧島市行政改革実施計画」等の進捗管理に対する提言をはじめ、行政改革全般に関する案件を協議している。</p> <p>行政評価システム...施策や事業等の行政活動について、目的や成果、コストなどに着目してその有効性や効率性を評価し、その結果を予算などに反映させることにより、効果的かつ効率的な行政運営の継続的な改善を目指す仕組み。</p> <p>霧島市行政改革大綱...行財政環境の変化に対応するため、行政改革に係る基本的な考え方や具体的な推進方策を示したもの。</p> <p>霧島市行政改革実施計画...「霧島市行政改革大綱」の基本理念に基づき行政改革を推進するため、具体的に取り組む事項を取りまとめたもの。</p>						
活動指標(事務事業の活動量)						
	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)	
ア	行政改革推進委員会の開催数	回	0	3	2	0
イ	評価を行った事務事業数	事務事業	528	500	521	521
ウ	2次評価を行った事務事業数	事務事業	25	40	12	40
(2) 事務事業の目的						
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア	具体的に取り組む事項	霧島市行政改革実施計画の取組件数	件	19	19	19
イ	市が行っている事務事業	事務事業数(一般会計)	事務事業	946	900	962
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア	着実に取り組む	単年度進捗(進捗評価>50%/計画数)	%	81.81	100	90.90
イ	改革改善される	事務事業の評価結果を改革改善に生かしている職員の割合(職員アンケート調査)	%	70.20	80	72.70
ウ	政策体系に基づいた目的意識・成果志向による業務を行う	目的意識・成果志向による業務を行っている職員の割合(職員アンケート調査)	%	78.20	90	79.10
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
<p>行政評価を活用し、確実に事務事業を振り返り、問題点・課題を洗い出し、必要とされる見直しや改善を行う、成果重視型の行政運営を推進します。</p> <p>また、業務最適化の観点から、業務の必要性の検討や民間活力の導入等を行うとともに、必要とされる組織機構や職員配置の見直しを行います。</p> <p>さらに、行政手続きの簡素化などによる利便性の向上や受付業務における接遇向上に努め、市民から信頼される窓口サービスを提供します。</p>						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	3年度決算	4年度当初予算	5年度当初予算	6年度計画	
<p>「霧島市行政改革大綱」及び「霧島市行政改革実施計画」については、2018(平成30)年度から2022(令和4)年度までの5年間を推進期間としている。推進期間最終年度の令和4年度においても、当該委員会の意見を踏まえ、取組の振り返りを行うとともに、「霧島市行政改革大綱」を第一に霧島市総合計画(後期基本計画)と「きりしまDX将来像」に統合することを検討する。</p>		事業費	千円	0	145	57	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	145	57	
	事業費	千円	0	145	57		

5. 令和4年度の実績及び成果	
(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>令和4年10月と令和5年2月に委員会を開催。</p> <p>第1回は、「霧島市定員管理計画」及び「霧島市組織機構の今後のあり方について」の策定報告、並びに「霧島市行政改革実施計画」の重点実施項目の令和3年度の振り返りを行った。</p> <p>第2回は、「霧島市行政改革実施計画」の重点実施項目と個別推進項目の最終評価を行った。</p>	<p>「霧島市行政改革実施計画」の進捗については、重点実施項目の11項目のうち10項目が着実に進んでいる。</p>

事務事業 番号	01897	事務 事業名	行政改革推進委員会運営事業	担当部	企画部
				担当課	企画政策課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	C	「霧島市行政改革大綱」を「第二次霧島市総合計画後期基本計画」と「きりしまDX将来像」に統合することとし、2つの計画の中に「霧島市行政改革大綱」の理念等を盛り込んだ。行政改革推進委員会は、「霧島市行政改革大綱」の進捗管理を主な役割としているが、本大綱を他の計画に統合したことから、本委員会の役割を終えることとした。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充				
		維持				
		縮小				
		休廃止（統合含む）	レ			
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	なし。					
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	なし。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充				
		維持				
		縮小				
		休廃止（統合含む）				
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 総評						

1. 基本情報						
事務事業番号	01898	事務事業名	霧島市産学官連携推進事業		担当部	企画部
政策名	005	きょうどう（市民とつくる協働と連携のまちづくり）			担当課長	上小園 拓也
施策名	004	市の魅力と価値を高める多角的施策の展開			グループ	企画政策グループ
基本事業名	003	産官学との連携の推進			内線番号	1512
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	02	総務費		単年度繰返（開始年度 平成28年度 ~）	
	項	01	総務管理費		期間限定複数年度（ ~ ）	
	目	10	霧島ふるさと元気再生事業費		根拠法令・条例等 まち・ひと・しごと創生法、霧島市ふるさと創生有識者会議設置要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市ふるさと創生総合戦略	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）						
<p>「霧島市ふるさと創生総合戦略」に掲げる施策の促進を図るための手段として、産学官連携の推進に取り組み、魅力的でかつ誰もが暮らしやすくなるまちを築くことにより「霧島市ふるさと創生人口ビジョン」に掲げる将来人口を実現するため、主に以下の項目を実施する事業である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「霧島市ふるさと創生総合戦略」の推進及び進捗管理を目的として、実施事業の効果検証等を行うため、霧島市ふるさと創生有識者会議（外部有識者会議）を設置・運営 ・総合戦略の推進に関連する産学官等の各種団体との連携調整 ・産学官等の関係機関が実施する地方創生関連事業への参画 <p>霧島市ふるさと創生有識者会議...「産学官金労言」の分野の有識者など、15名の委員で構成される会議（年2~3回開催）</p>						

活動指標（事務事業の活動量）	単位	令和 3年度（実績）	令和 4年度（見込）	令和 5年度（見込）	令和 6年度（見込）
ア 地方創生の意識啓発に係る講座の開催数	回	1	2	1	1
イ 霧島市ふるさと創生有識者会議の開催数	回	1	3	3	2
ウ					

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 （左記 対象の大きさを表す指標）	単位	令和 3年度（実績）	令和 4年度（見込）	令和 5年度（見込）	令和 6年度（見込）
ア 総合戦略のKPI（重要業績評価指標）	設定された指標の数	指標数	59	59	59	52
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 （左記 意図の達成度を表す指標）	単位	令和 3年度（実績）	令和 4年度（目標）	令和 5年度（目標）	令和 6年度（目標）
ア 効果検証する（達成する）	進捗の割合（達成・終了/指標数）	%	20	75	27	75
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針（総合計画より）						
<p>地元大学・高等専門学校やJAあいら、金融機関等と締結した連携協定を効果的に推進するため、組織体制の強化を通じ、積極的な意見・情報交換を行うとともに、継続的かつ具体的な事業を展開します。</p> <p>また、世界的大企業や高い技術力をもつ先端企業が立地している等の本市の優位性を最大限に活用し、地域の多様な人材が活躍できる仕組みを構築します。</p>						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 4年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 当初予算	6年度 計画	
<p>令和 3年度に開催した有識者会議における助言等を参考にしながら、第2期総合戦略の推進を図ることも、各施策の効果検証等を行う。また、令和 4年度で第2期総合戦略の計画期間が満了するため、次期総合戦略を策定し、地方創生に係る各施策を戦略的に推進する。</p> <p>・産学官連携の取組の一つとして、市と事業者等が連携して地域の課題解決を図る協働の取組を推進し、持続的に発展できるまちづくりの実現を目指す。</p>		事業費	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	43	291	139	128
		151	千円	43	291	139	128

5. 令和 4年度の実績及び成果	
(1) 令和 4年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
<p>【霧島市ふるさと創生有識者会議】</p> <p>・第3期霧島市ふるさと創生総合戦略の策定に向けた協議及び意見聴取のため、令和 4年 7月、10月及び令和 5年 2月に会議を開催。なお、令和 4年 7月は地方創生推進交付金事業、10月は総合戦略の取組やKPIの進捗状況等についての効果検証を併せて実施。</p> <p>【研修会】</p> <p>・鹿児島工業高等専門学校からの要請に応じ、2年生の学生に対する特別講義に講師として職員を派遣（1回）</p>	<p>・有識者から意見を聴取するとともに、国や県の総合戦略を踏まえた上で、第3期霧島市ふるさと創生総合戦略を策定することができた。</p> <p>・有識者会議での効果検証結果は、国へ報告するとともに市のホームページで公表した。また、今後の地方創生の推進、進捗管理に当たり、貴重な助言等をいただくことができた。</p>

事務事業 番号	01898	事務 事業名	霧島市産学官連携推進事業	担当部	企画部
				担当課	企画政策課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		総合戦略の推進には産学官の連携が必要不可欠であり、各種団体との連携を図ることは、総合戦略の施策の更なる推進にも繋がる。また、外部有識者からの助言、意見を反映させることにより行政内部だけの視点による施策の推進を避けることができるため、継続して取り組むことが必要である。
総合評価		A

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）		・有識者会議における助言等を参考にして第3期霧島市ふるさと創生総合戦略の推進を図るとともに、各施策の効果検証等を行い、地方創生に係る各施策を戦略的に推進する。 ・産学官連携の取組の一つとして、市と事業者等が連携して地域の課題解決を図る協働の取組を推進し、持続的に発展できるまちづくりの実現を目指す。			
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）		・第3期霧島市ふるさと創生総合戦略に基づく各施策の積極的な推進			

8. 2次評価結果 (担当部長評価)					
				評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 総評					

